

整備計画（案）

平成 29 年 3 月

新宿ターミナル協議会

目次

1. 整備計画について	
(1) 作成の目的	1
(2) 実施する施策	1
2. 各施策の実施内容とスケジュール	
(1) 案内サインの改善	
① 案内サインの整備	2
② エレベーターに関する案内サインの整備	5
(2) バリアフリーの推進	
① エレベーターの整備	6
② 視覚障害者誘導用ブロックの整備	7
(3) サービスの向上	
① ターミナルマップの配布	8
② エレベーター・階段マップの配布	9
③ マップの更新	10

【別冊】サイン計画

1 整備計画について

(1) 作成の目的

基本ルールに基づいて実施する各施策の実施内容と時期を明確にし、関係者間で共有することを目的とする。

(2) 実施する施策

- 案内サインの改善
 - ・案内サインの整備
 - ・エレベーターに関する案内サインの整備

- バリアフリーの推進
 - ・エレベーターの整備
 - ・視覚障害者誘導用ブロックの整備

- サービスの向上
 - ・ターミナルマップの配布
 - ・エレベーター・階段マップの配布

2 各施策の実施内容

(1) 案内サインの改善

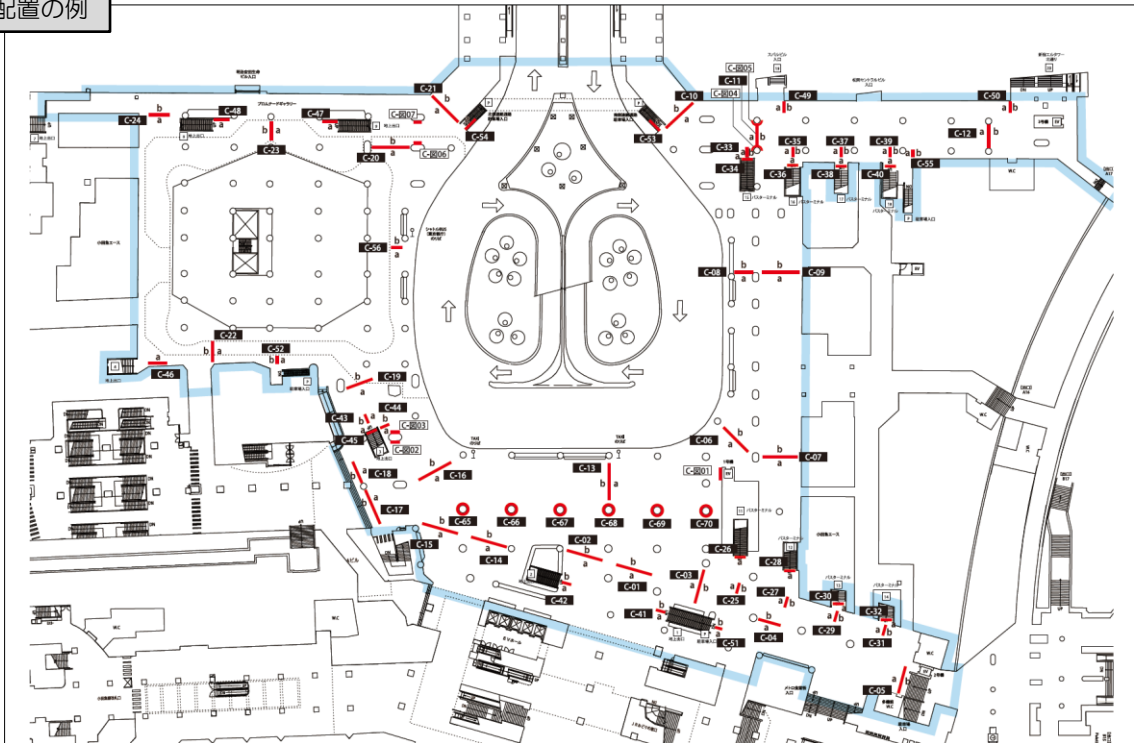
①案内サインの整備

サイン計画に定めた案内サインの整備を、各管理者が実施する。
各管理者は、ターミナル全体で調整された整備手順に合わせて整備を実施する。
また、視認性の向上のため、サイン照明のLED化を推進する。

【サイン計画】

- 各サインの配置、表示内容を定める。詳細は、別冊「サイン計画」のとおり。

配置の例



表示内容の例

レイアウト基本図 (S=1/10)

336
450
280
91
140
35
70
140

C-01 -a 器具外形寸法H450×W8000 (和文文字高70, 140)

中央公園方面
for Chuo Park

東口 East Square
東口地下 East Concourse
西武線 Seibu Line
西武新宿 歌舞伎町方面 for Kabukicho
大江戸線新宿西口駅 Oedo Line, Shinjuku-nishiguchi Sta.
丸の内線 Marunouchi Line
新宿三丁目方面 for Shinjuku-sanchome
青梅街道方面 for Ome-kaido Ave.
西口バスのりば West Bus Station
西口 West Square

C-01 -b

西口 West Square
西口バスのりば West Bus Station
メトロ地下通路 青梅街道方面 for Ome-kaido Ave.
丸の内線 Marunouchi Line
大江戸線新宿西口駅 Oedo Line, Shinjuku-nishiguchi Sta.
西武線 Seibu Line
西武新宿 歌舞伎町方面 for Kabukicho
東口地下 East Concourse
東口 East Square
観光案内所 Tourist Information

C-02 -a 器具外形寸法H450×W8000 (和文文字高70, 140)

京王線 Keio Line
東京都庁方面 for Met. Government
京王新線 都営新宿線 Keio New Line | Toei Shinjuku Line
大江戸線新宿駅 Oedo Line, Shinjuku Sta.
南口 South Concourse
高速・空港バス(バスタクシー) 甲州街道方面 for Koshu-kaido Ave.
TAXI

C-02 -b

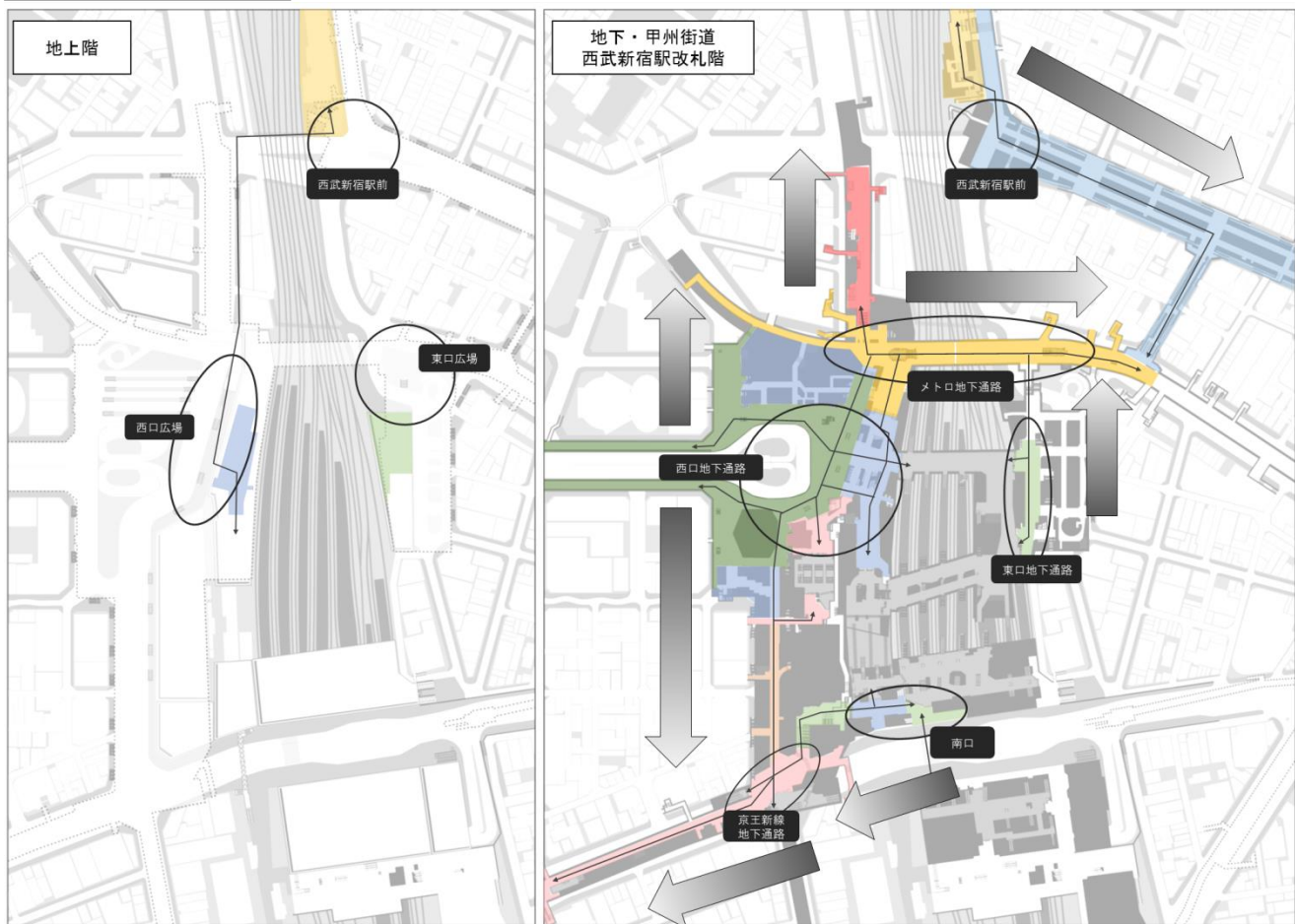
小田急線 Odakyu Line | JR線 JR Lines
高速・空港バス(バスタクシー) 甲州街道方面 for Koshu-kaido Ave.
南口 South Concourse
都営新宿線 京王新線 Toei Shinjuku Line | Keio New Line
京王線 Keio Line
大江戸線新宿駅 Oedo Line, Shinjuku Sta.

【整備手順とスケジュール】

○整備手順の基本的な考え方

- ・サインシステムの核となる「結節空間」を優先的に整備
- ・案内の連続性の確保に配慮し、隣接する区域を順に整備
- ・連続する動線に対するサインは、可能な限り短期間に整備
- ・原則として、ターミナル全体で調整された整備手順に合わせて整備

整備手順のイメージ



○整備スケジュール

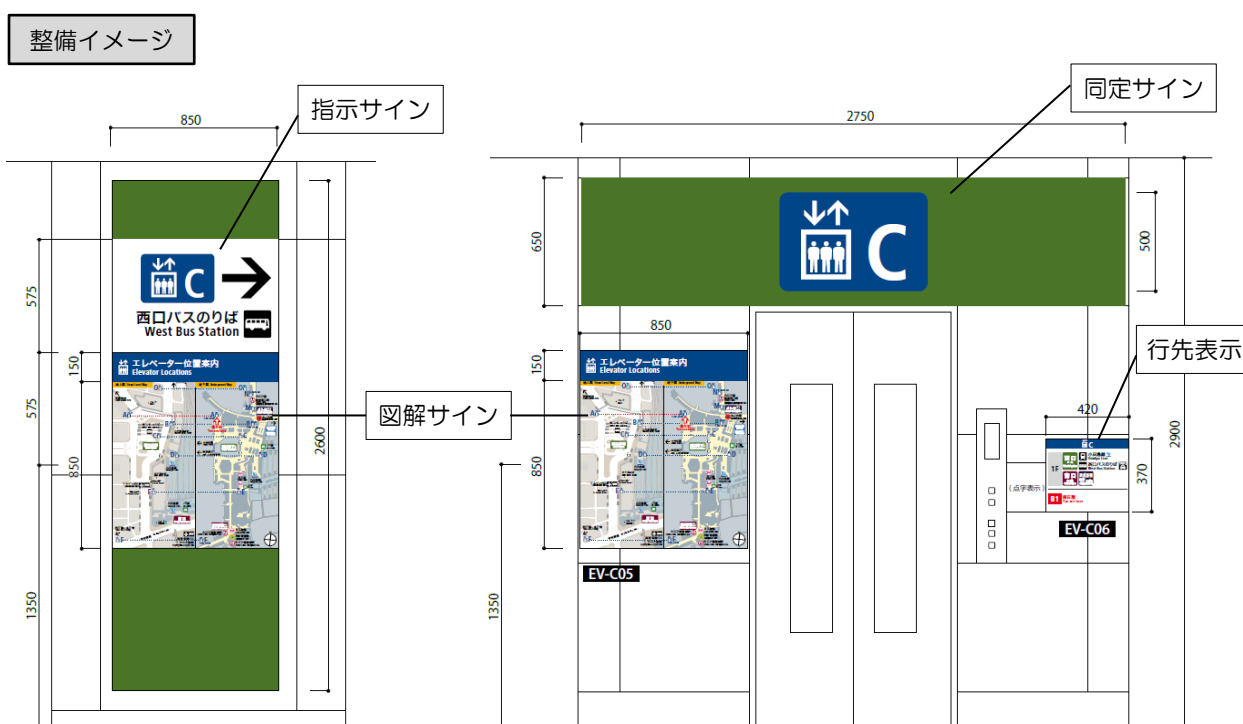
結節空間	場所 (サイン計画での工区名称)	2017年度												2018年度		2019年度	2020年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-9月	10-3月							
西口地下 広場	小田急西口地上改札付近(小田急④)	-----																				
	西口地下広場(建設局)								漏水対策工事と調整しながら実施													
	小田急西口地下改札付近(小田急①)																					
	京王西口付近(京王①)																					
京王新線 地下通路	小田急エース南館(小田急③)																					
	京王百貨店口付近(京王②)																					
	京王モール(京王モール)																					
南口	京王新線口付近(京王③)																					
	JR南口付近(JR②③)																					
東口地下 通路	小田急南口改札付近(小田急⑤)	-----																				
	JR東口地上階(JR①')																					
地下メトロ 通路	JR東口・中央東口付近 (JR①、ルミネ)																					
	大江戸線新宿西口駅(交通局)																					
	丸ノ内線西側改札付近(メトロ①)																					
西武新 宿駅前	丸ノ内線東側改札付近(メトロ②)																					
	西武新宿駅(西武)																					
	路上(その他)	-----																				

② エレベーターに関する案内サインの整備の進め方

段差に対する迂回経路の案内を充実させるため、エレベーターに関する案内サインを独立したサインシステム（サブシステム）として整備する。調整された整備内容に基づき、各管理者が整備する。

【基本的な考え方】

- 乗り換えやターミナル内の移動に使用されるエレベーターに通し記号を付け、図解サイン、指示サイン、同定サインにより案内する。
- 遠くからでも視認できるように、可能な限り大きな文字を使用する。
- エレベーターの行先を明示する。



【整備の進め方】

- 可能な限り、①案内サインの整備と同時期に整備する。

※具体的な調整を2017年度早々に行い、整備を進める。

(2) バリアフリーの推進

①エレベーターの整備

主な乗換経路上の段差を解消するため、エレベーターを整備する。

【整備箇所】



【整備スケジュール】

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
I	京王新線地下通路 ⇄ 南口	調査・設計・工事			
II	メトロ地下通路 ⇄ 都営大江戸線 新宿西口駅	工事 夏頃完成予定			

②視覚障害者誘導用ブロックの整備

主な乗換経路となっている箇所について、視覚障害者誘導用ブロックを連続して設置する。

【整備箇所】



【整備スケジュール】

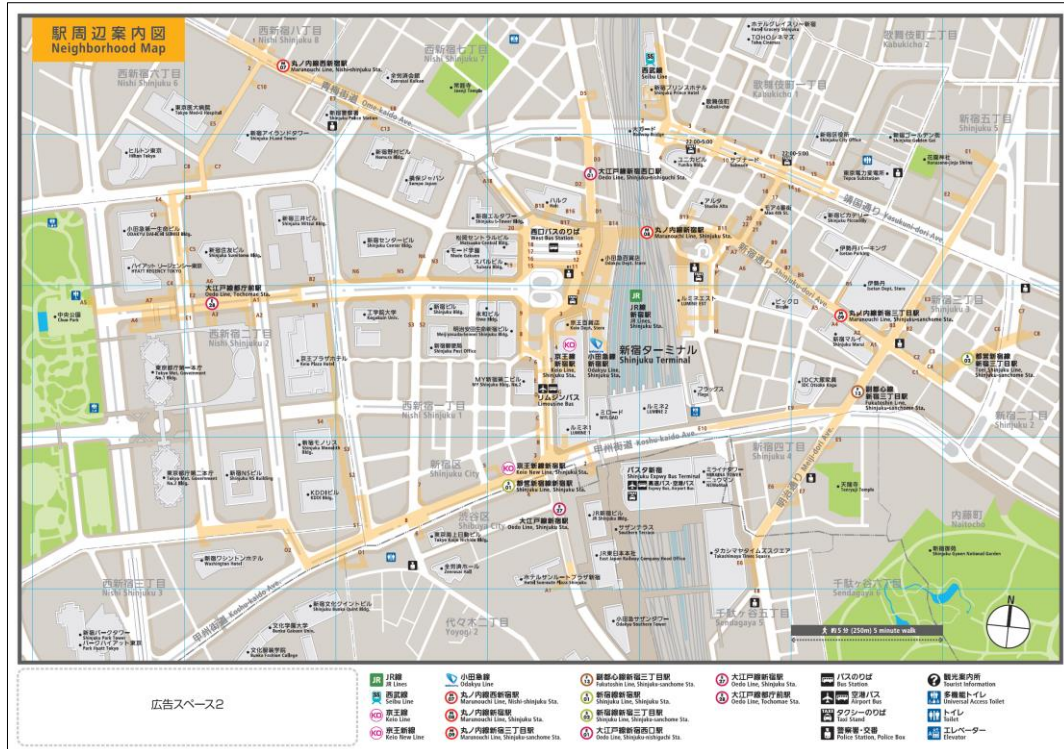
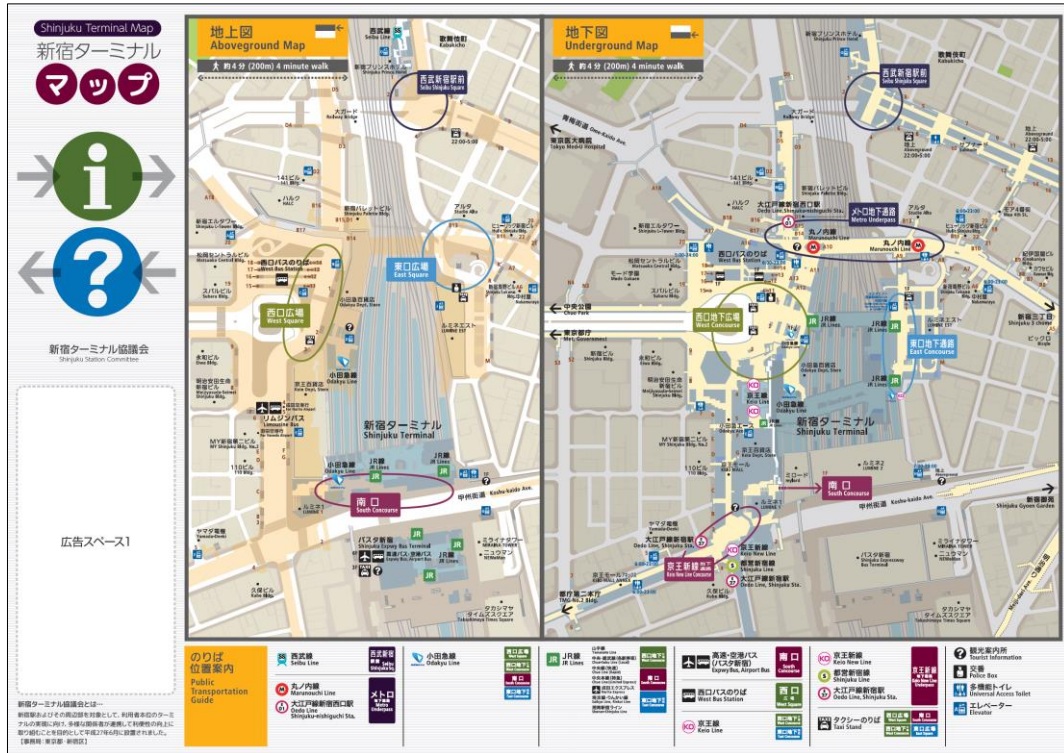
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
I	西口広場 ⇄ 西武新宿駅（地上）	設計・工事			
II	メトロ地下通路 ⇄ 西武新宿駅（地下）	設計・工事		設備更新工事等と調整しながら実施	

(3) サービスの向上

①ターミナルマップの配布 2017年度第1四半期から配布予定

各事業者により、パンフレットラックや案内所等で、ターミナルマップを印刷・配布する。

【マップの仕様】

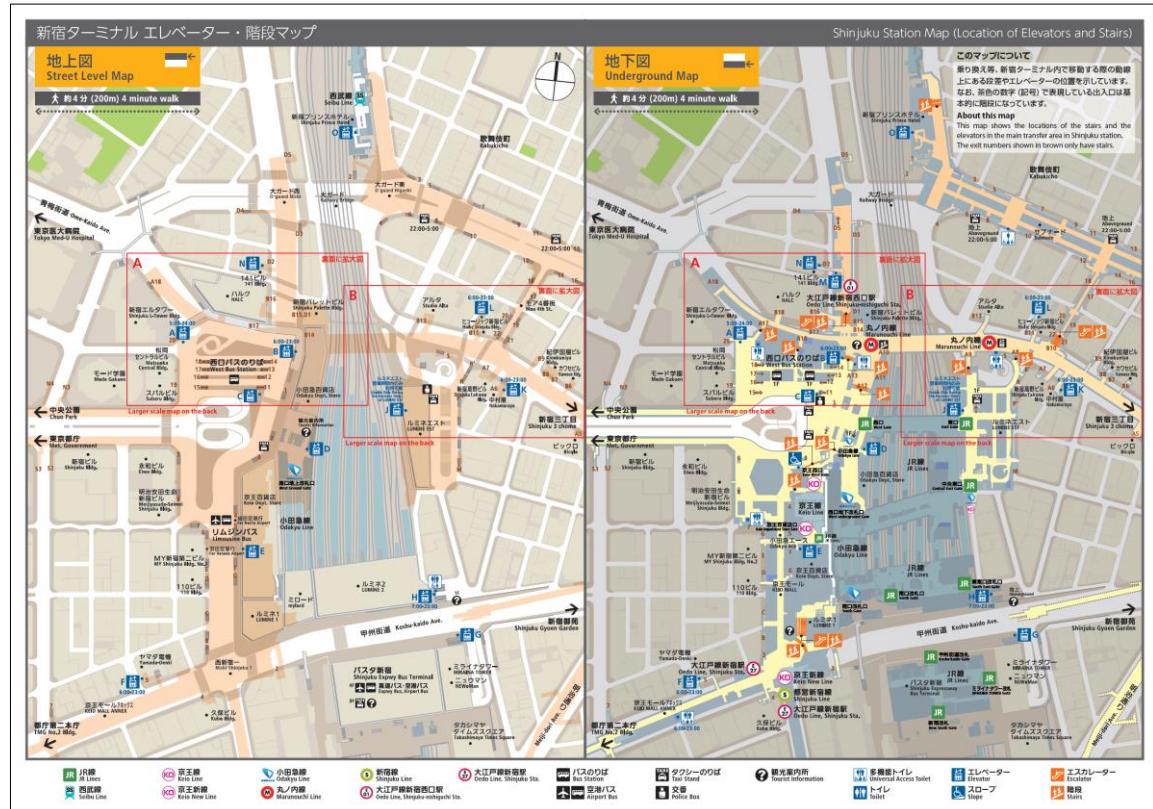


②エレベーター・階段マップの配布

2017年度第1四半期から配布予定

案内所等で、エレベーター・階段マップを配布するとともに、事前に確認できるようにホームページ等に掲載する。

【マップの仕様】



③マップの更新

掲載する情報の更新を2年に1回程度、新宿区が実施し、更新したデータを各事業者に提供する。

【スケジュール】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度

The diagram illustrates a two-year cycle of map updates. The first cycle starts in 2017, with '印刷・配布' (printing and distribution) occurring in 2018 and '更新' (update) in 2019. The second cycle starts in 2020, with '印刷・配布' in 2021 and '更新' in 2022. The diagram uses grey arrows and circles to represent these activities across the years 2017 to 2021.